

カプサンチンによる東京うこっけい卵の高負荷価値化

【研究概要】

近年、カロテノイドの抗酸化作用が注目されている。これまで卵黄の着色を目的に利用されてきたパプリカ抽出物等の添加給与により、これらに含まれるカプサンチン等のカロテノイドが東京うこっけい卵や鶏体へ及ぼす影響を調査した。今年度は下記の3つのことが判明した。

- (1) 卵黄中の色素は、遮光下にあっても保存温度および期間に依存して退色する可能性があること。
- (2) 卵白の pH が東京うこっけいでは一般鶏（ロードアイランドレッド）に比べて高く推移し、保存期間に依存して上昇すること。
- (3) 東京うこっけいは、パプリカ抽出物の添加給与により、一般鶏では観察されない血中脂質代謝への特異的な影響を受ける品種であること。